



奇跡の一本松
(岩手県陸前高田市)

分かち合おう、
自然災害への備え。復興力。



曳き船まつり
(岩手県釜石市)



災害公営住宅
(岩手県大槌町吉里吉里)

入場無料

～新たなふるさとづくりに向けて～

いわて三陸復興フォーラム in 長野

2016 12.3(土) 14:00-16:30(予定) ホテルメルパルク長野「メルパルクホール」

岩手県公式インターネット番組 いわて希望チャンネル(ニコニコ生放送)で配信予定

鼎談 テーマ「地域で進める災害からの復興」



長野県知事
阿部 守一 (あべ しゅいち)



岩手県知事
達増 拓也 (たつそ たくや)



信州大学 地域防災減災センター センター長
菊池 聡 (きくち さとる)

来賓



内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官
務台 俊介 (むたい しゅんすけ)

パネルディスカッション テーマ「地域の復興力」

パネリスト紹介



大槌町安波町内会
会長 佐々木 慶一 (ささき けいいち)

大槌町出身。東日本大震災時は安波1丁目町内会長、避難所では代表を5か月間務めた。2012年から統合した安波町内会会長。安波地区は震災時、避難誘導や救助に向いた住民の多くが犠牲になったことから、地区住民への徹底的な聞き取りと検証を行い、先駆的な地区防災計画を策定。要援護者の支援時間を「地震後15分以内」に限定する「退避ルール」を盛り込んだ。その後も実効性を確認するため地区津波避難訓練を定期的に開催。毎回テーマを絞って訓練を重ね、犠牲者ゼロの避難のあり方を探り続けている。また、誘致企業と住民の「顔合わせ会」を開くなど地域コミュニティの形成にも尽力している。



長野県白馬村 旅館「木麩(もくじん)」
代表取締役 柏原 周平 (かしわばら しゅうへい)

2014年11月22日、長野県北部を震源とする最大震度6弱の長野県神城断層地震に見舞われた北安曇郡白馬村神城三日市場の旅館木麩の3代目経営者。趣味の延長で企画した「プラモデル作り合宿」の参加者16人が滞在中、地震が発生。再び営業するにはほぼ新築に近い大規模なリフォームが必要な状態に陥った。「廃業することも考えた」が、多くの友人や常連客らのさまざまな支援や励ましを受け「恩返しをする場所を作りたい」と決意。地震から1年後の2015年11月22日に営業再開の「復活祭」を開催。同祭には、1年前共に被災した滞在客16人全員が駆けつけ、全館改装オープンを果たした。



有限会社ヤマキイチ商店
専務取締役 君ヶ河 剛一 (きみがほら たけいち)

釜石市出身。高校まで釜石市で過ごす。大学卒業後、百貨店に勤務。2007年に釜石に戻り、家業を継ぐべく、ヤマキイチ商店に入社。インターネットを通じ、主力商品である「泳ぐホタテ」を中心に、地元のお産物を全国の食卓にお届けする通信販売業を営む。徹底した鮮度管理にこだわり、日本一高い値段で仕入れ、日本一高い値段で売って世の中に貢献し続けることが目標。



岩手県県土整備部建築住宅課
技師(長野県からの派遣) 竹森 恒平 (たけもり こうへい)

2010年4月に長野県建築技術職員となり、主に設計図等から建築物の安全性をチェックする建築確認申請の業務に従事。2014年11月22日に発生した長野県神城断層地震においては、被災直後の建物の被害状況を調査する「応急危険判定」に関わる業務を経験。2016年4月より、災害復興の応援派遣職員として岩手県庁へ勤務。2011年3月11日に発生した東日本大震災により、住宅を失われた方等が入居される「災害公営住宅」の建築工事業務等に従事している。

コーディネーター



信濃毎日新聞社 編集局報道部次長
松井 慎央 (まつい みつひろ)

1967年長野市生まれ。92年、信濃毎日新聞社入社。記者として小諸支局、長野本社報道部(教育担当)、東京支社、同本社報道部の社会、市政キャップを経てデスクに。2015年4月から現職。14年9月の御嶽山噴火災害を取り上げ、15年の新聞協会賞(編集部門)を受けた連載企画「検証・御嶽山噴火」の担当デスク。現在は社会面を担当し、災害や防災の取材をまとめている。

全体スケジュール

- ★14:00 開会
岩手県知事あいさつ
- ★14:05 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官あいさつ
- ★14:10 鼎談
- ★14:50 (休憩)
- ★15:05 パネルディスカッション
- ★16:30 閉会

展示コーナー

岩手日報報道パネル展

岩手日報紙面をパネル化して展示。震災後から継続される復興への取り組みや、長野とのつながりのニュースなども交えて構成します。

IBC岩手放送

3.11岩手・大津波の記録～2011東日本大震災～
IBC岩手放送が制作した、「3.11岩手・大津波の記録～2011東日本大震災～」を特別編集し会場にて放映します。

いわて三陸復興マルシェ

会場内では岩手県産品の物販もごさいます。三陸の豊かな恵み、たしかな手仕事をお買い求めください。

ご来場の皆様に

三陸産いわてわかめ(パック入り)
無料プレゼント!

全国の皆様のご支援により震災から復活した三陸産いわてわかめ。ご来場の皆様にもれなくプレゼントいたします。肉厚で弾力があり、風味豊かな三陸産いわてわかめをご堪能ください。



開催場所マップ

ホテルメルパルク長野「メルパルクホール」

〒380-8584 長野県長野市鶴賀高畑752-8
(JR長野駅より徒歩5分)



定員 400名

締め切り

平成28年11月28日(月)【定員になり次第締め切り】

メールまたはFAXで受付の上、聴講券をお送りします。応募多数の場合は先着順となります。

問い合わせ

開催事務局:岩手日報社広告事業局広告部「いわて三陸復興フォーラム係」TEL019-653-4118へ。

(9時30分～17時、土・日・祝日を除く)

申し込み

FAXの場合は、参加申し込み書に記入の上、FAX019-626-1881開催事務局:岩手日報社広告事業局広告部「いわて三陸復興フォーラム係」へ。
メールの場合は、名前、郵便番号、住所、電話番号及び「長野会場参加」と明記の上、fukkou@iwate-np.co.jpへ。

※応募の個人情報は、岩手県及び岩手日報社が聴講券の発送、フォーラム受付のみの目的で使用いたします。

「いわて三陸復興フォーラムin長野 参加申し込み書」

(所属)

(氏名)

(職名)

(電話番号)

(郵便番号)

(住所)